

コロナ禍におけるビジネスチャンスとしてのSDGs

2020年12月3日(木)

14:00~16:30

(受付開始: 13:30)

会場: ウィンクあいち 小ホール1
およびWeb開催 (Zoom)



2015年に国連で採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」に対する企業の積極的な取り組みは、企業イメージの向上だけでなく、SDGsの取り組みをきっかけとした新たなビジネスチャンスの創出など、持続的な成長や企業価値の向上に大きく貢献すると考えられます。また、コロナ禍においては様々な課題が顕在化し、予期せぬリスクによって社会生活の持続性が困難となる中、「持続可能な社会」の実現を目標とするSDGsはこれまで以上に注目されています。

本セミナーでは、慶應義塾大学大学院 蟹江教授にコロナ禍でのSDGsについて基調講演を実施いただくとともに、SDGs未来都市に選定された愛知県・岐阜県・三重県からSDGs推進施策を紹介いただくことで、コロナ禍においてSDGsをビジネスに活かしていただくためのヒントを提供します。

プログラム

14:10~15:10

基調講演

「コロナ禍におけるビジネスチャンスとしてのSDGs」

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授 蟹江 憲史 氏

15:10~16:10

愛知県・岐阜県・三重県のSDGs推進施策について

16:10~16:30

国際連合地域開発センターのSDGs推進の取り組み

国際連合地域開発センター 所長 遠藤 和重 氏

講師紹介 (基調講演)



慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授 蟹江 憲史 氏

〔講師略歴〕

慶應義塾大学SFC研究所×SDGs・ラボ代表、国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) 非常勤教授。北九州市立大学講師、助教授、東京工業大学大学院准教授を経て現職。2017年より株式会社レノバ 独立社外取締役役に就任。専門は国際関係論、地球システム・ガバナンス。日本政府持続可能な開発目標 (SDGs) 推進本部円卓会議構成員、内閣府自治体SDGs 推進評価・調査検討会委員および地方創生SDGs官民連携プラットフォーム幹事などを務める。国連におけるSDGs策定に、構想段階から参画。SDGs研究の第一人者であり、研究と実践の両立を図っている。8月に中公新書より、蟹江憲史著「SDGs (持続可能な開発目標)」を出版。博士 (政策・メディア)。

会場 (来場参加の場合)

ウィンクあいち 5階 小ホール1 (名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

お申込み等

お申込: 財団ホームページまたは裏面参加申込書により
11月27日 (金) までにお申込みください。

参加費: 無料 (事前登録制)

定員: 来場参加 50名 (先着順)
Web参加 上限500名

主催: (公財)中部圏社会経済研究所
国際連合地域開発センター

後援: 愛知県・岐阜県・三重県・
一般社団法人中部経済連合会

E-mail: criser@criser.jp
FAX: 052-212-8782

財団ホームページからも
お申込できます



<http://www.criser.jp/>

『コロナ禍におけるビジネスチャンスとしてのSDGs』参加申込書

ご参加形式 (いずれかに☑をお付けください。)	<input type="checkbox"/> 来 場 ・ <input type="checkbox"/> WEB
貴社・貴団体名	
ご所属	
お役職	
お名前	
連絡先 電話	
連絡先 FAX	
連絡先 メールアドレス	

※上記にご記入いただいた情報は、公益財団法人中部圏社会経済研究所の「個人情報保護方針」に則り適切に使用いたします。

※Web参加の方は事務局にてZOOMの参加登録を行います。no-reply@zoom.usより、WEB開催参加用リンクが送付されます。

※Web開催につきましては、インターネットの通信状況により、接続が不安定になる可能性がございます。予めご了承ください。

<問い合わせ先>

公益財団法人 中部圏社会経済研究所

企画調査部 石橋

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目14番2号

久屋パークビル3階

Tel: 052-212-8790 FAX:052-212-8782

E-mail: criser@criser.jp

◆新型コロナウイルス感染症に関して

- ・現地会場にご参加の皆様は、マスク着用等、感染症対策にご協力をお願いいたします。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢等の変更により、開催を延期、中止又は実施方法等を変更する場合があります。予めご了承ください。